

大新书局授权

21世紀のマルチメディアに適應した教材

新文化

Shin
Bunka
Nihongo



しんぶんか にほんご

日本語

初级 2

しん

(日) 文化外国语专门学校 编

ぶんか

南开大学出版社
天津电子出版社

新书局授权

21世紀のマルチ

新文化

Shin
Bunka
Nihongo

しんぶんか にほんご

日本語

初级 2

(日) 文化外国语专门学校 编

南开大学出版社
天津电子出版社

本著作物由（日本）文化外国语专门学校、大新书局授权出版
天津市版权局著作权合同登记号：图字 02-2011-146

图书在版编目（CIP）数据

新文化日本语. 初级. 2 / 日本文化外国语专门学校
编. -- 天津：南开大学出版社，2011.9
ISBN 978-7-310-03760-5

I. ①新… II. ①日… III. ①日语 - 自学参考资料
IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字（2011）第 171854 号

版权所有 侵权必究

南开大学出版社、天津电子出版社出版发行

出版人：肖占鹏

于志坚

地址：天津市南开区卫津路 94 号 邮政编码：300071

天津市南开区长实道 19 号 邮政编码：300191

营销部电话：（022）23678808 营销部传真：（022）23678809

*

珠海市壹朗印刷有限公司印刷

全国各地新华书店经销

*

2011 年 8 月第一版 2011 年 8 月第 1 次印刷

787x1092 毫米 16 开本 13 印张 195 千字

定价：52.00 元（含光盘一张）

如遇图书印装质量问题，请与本社营销部联系调换，电话：（022）23678808

《新文化日语初级》全彩印刷改订版序

《文化初级日语 I·II》(日本)文化外国语专门学校日语科编著,自 1987 年出版以来,便广受好评,受到许多日语教师的青睐与采用。

随着日本的社会经济和情势的变化,为了使教材中的话题更吻合时代性,(日本)文化外国语专门学校日语科的教师群于 1996 年着手开始修订新版的《新文化初级日语 I·II》,自出版以来依然佳评如潮,各大学日文系以及技职院校日语相关科系仍继续地采用。

为了以更新、更优质的面貌来呈现这套教材,我们于 2002 年 6 月取得原著作单位(日本)文化外国语专门学校同意以及充分授权之下,做了大幅度的变动,特别将《新文化初级日语 I·II》重新编辑为:

《新文化日语初级 1》(生活会话~第 9 课)

《新文化日语初级 2》(第 10 课~第 18 课)

《新文化日语初级 3》(第 19 课~第 27 课)

《新文化日语初级 4》(第 28 课~第 36 课)

并将《文化初级日语 I·II 练习问题》按各课别加入每册课后,以方便学习者使用。

全套四册系列改以全彩印刷,以崭新的面貌出版,并配以高科技数码学习**点读笔**,使书本能说话,以此来吸引更多的学习者使用本套书,并提高学习者的兴趣。此外,全文加以录音(包括练习问题),可帮助学习者做更多的听力训练。

另外,也将出版附属的相关教材,包括各册的《教师用指导手册》、《课文中译·练习解答》以及听解教材《轻松说日语》、《轻松听日语 I·II》、《轻松读日语 I·II》等等,相信这样完整的搭配教材,可以让学习者更有系统、更有效率地达到听、说、读、写的全方位学习效果。

改版过程中,我们对于全彩版面设计、编辑排版等作业用尽苦心,但错误在所难免,期望广大的支持者随时提供意见,以便我们日后参考改进。

编者语

2011 年 8 月

改訂にあたって

『文化初級日本語I・II』（以下「文化初級」）は1987年4月の出版以来、広く国内外の日本語教育機関で使用されてきました。出版から今日に至るまで、多くの方々からご意見、ご助言をいただき、これらの意見を集約・検討してきましたが、その過程で「文化初級」の新たな課題が明らかになってきました。また、この13年間は日本の経済・社会情勢が大きく変化した期間でもありました。これらの変化は日本語教育の現場にも少なからぬ影響を与えました。このような時代の流れに対応するとともに、学内外から寄せられた意見を教科書に反映させるために、1996年より「文化初級」の改訂作業を行うことになりました。

改訂にあたっては、学習者にとってよりわかりやすい教科書とはどのようなものかということを中心に念頭に置き、学習者及び現場の教師の視点に立って、作業を進めました。具体的には、「文化初級」の日本語学習に対する基本的な考え方（P5本書の特徴参照）を踏まえつつ新しい発想も加えて、以下のような点を中心に改訂を行いました。

1. 本文

日本の経済・社会情勢の変化によりトピックが時代に合わなくなったもの、本文の場面設定が学習者にとって身近かではなく学習項目が理解しにくいものについては全面改訂しました。また、学習項目をより理解しやすくするためにほとんどすべての課の本文を一部改訂しました。（全面改訂をした課…第18課、第26課、第32課、第33課、第34課）

2. 文型

すべての文型について例文を見直し、例文の改訂及び追加を行いました。各課で学習する文型は基本的に「文化初級」と同様ですが、名詞修飾や授受表現などのように数課に渡って学習するものに関しては教科書全体を通してそれぞれの難易度・提出の順序等を再度検討し、必要に応じて例文の内容及び提出の順序を変えました。さらに、「文化初級」では新出の活用形・接続の形などを活用表などを使って示していましたが、今回の改訂ではその範囲を広げ、名詞修飾などでも図を使ってよりわかりやすくしました。

3. 練習

文型と同様にすべての練習を見直し、改訂及び追加を行いました。また、各課の学習項目を再度検討して、必要と判断したものは新たに練習を作成しました。

4. 索引

「文化初級」では『文化初級日本語I・II総索引』という形で教科書とは別に索引を出版していましたが、学習者が予習・復習の際に活用できるように50音索引と各課索引を巻末に掲載しました。

この本について

1. 本書の特徴

本書は、将来日本の大学や専門学校に進学することを希望し、初めて日本語を学ぶ学習者のための日本語教科書で、媒介語を使わない授業で使用することを前提としている。

日本で高等教育を受けようとする学習者にとって、初級の日本語学習は次の条件を満たすものでなくてはならない。第一に文法を体系的に習得し、将来高等教育を受けるに足る高い応用力を積み上げられるような土台を作ること、第二に、日本の生活で日々直面する場面でコミュニケーションができるようにすることである。本書の編集にあたっては、この二つの面から学習者の能力を高めることを目指した。具体的には、文型を現実的な場面に組み込んで提出しながら積み上げていく方法をとった。媒介語を使わない学習では、新しい文型を導入する時、それが使われている場面や状況、つまり誰がどこでどんな目的で使っているのかを具体的に示すことが理解の手がかりとして最も重要である。そこで、日常生活の場面の中から、文型の意味が分かりやすく、学習者の生活に関連の深いものを選んで本文のストーリーを構成した。また、学習者の理解を視覚的に助け、場面のイメージを生き生きと伝えるためにイラストを多く使った。

学習者にとって文型の習得とは抽象的な理解と機械的な練習だけを指すのではなく、実際に、それが使われるべき状況で正しく使うことができ、初めて習得したと評価されるべきである。本書の本文では学習者が同じような場面に出会った場合、ことばを置き替えることによって、自分のことを表現できるように配慮した。

『新文化日本語初級1・2・3・4』の総学習時間は、ひらがな、カタカナの導入と、応用の読解、聴解、作文、会話指導などを合わせて300～350時間を目安としている。総語彙数は約1900である。

2. 全体の構成

本書は「日本語の発音」「生活会話」と36の課から成っている。(第1分冊には「日本語の発音」「生活会話」から第9課まで、第2分冊には第10課から第18課まで、第3分冊には第19課から第27課まで、第4分冊には第28課から第36課までが収められている。)
「生活会話」では、挨拶と生活するために最低必要な買い物の表現を取り上げた。第1課から第36課までは、

前述の編集方針に基づいて、文型が自然に使われる場面でストーリーを構成して、一つの課とした。各課の学習項目は3～10程度である。項目の提出順序は、易しいものから難しいものへの移行を基本にし、自然な場面の構成を考慮して、既出のものに新出のものを積み上げるようにした。

3. 各課の構成

それぞれの課は「本文」「文型」「練習」「練習問題」から成っている。

• 本文

本文は学習者が日本の生活で出会うであろうと思われる場面や、興味を持っていると思われる場面の中で文型を提示したものである。本文は主に会話文であるが手紙文や日記文などもある。本文の扱いは課によって異なり、モデル会話、モデル作文として扱うことを意図したものや理解中心のものなどがある。

• 文型

その課で学習すべき新出文型を取り出して、実際の発話に結びつけられるような例文をいくつか提示したものである。新しい活用などは必要に応じて活用表や図で示した。

• 練習

新出の学習項目を発話と結びつけるための短い入れ替え練習である。学習者が意味を十分理解し、自分の表現として定着することを目指している。

• 練習問題

4. その他

• 50 音索引

生活会話から第36課までの各課ごとの新出語とあいさつのことばや感動詞などの〈いろいろな表現〉の一覧である。第1分冊には生活会話から第9課まで、第2分冊には第10課から第18課まで、第3分冊には第19課から第27課まで、第4分冊には第28課から第36課までを載せた。それぞれ50音順に並べ初出の課を記した。

・各課索引

生活会話から第36課までの課ごとの新出語の一覧である。第1分冊には生活会話から第9課まで、第2分冊には第10課から第18課まで、第3分冊には第19課から第27課まで、第4分冊には第28課から第36課までを載せた。各課の新出語は〈語句〉〈い形容詞〉〈な形容詞〉〈動詞〉人名・地名などの〈特別な名詞〉に分類し、それぞれ50音順に並べてアクセント記号を記した。また、その後ろに教科書に提出された順に並べた〈いろいろな表現〉をつけた。

***仮名遣い**… 仮名遣いは現代仮名遣いによって統一した。漢字については常用漢字を基準としているが、常用漢字表に含まれていなくても漢字表記されることが多いもの(「誰」など)は漢字で提出した。また、学習者の負担を軽くするためにすべての漢字にふりがなをつけた。



とうじょうじん ぶつ

登場人物	10
------	----

10	だんたいりょこう 団体旅行	12
----	------------------	----

練習問題 19

11	じ こしょうかい 自己紹介	24
----	------------------	----

練習問題 35

12	りょうりきょうしつ 料理教室	42
----	-------------------	----

練習問題 51

13	りゅうがく せい せいかつ い しき 留学生の生活意識	56
----	--------------------------------	----

練習問題 67

14	にっ き マリーさんの日記	72
----	------------------	----

練習問題 79

15	どちらのほう ^{ちか} が近いですか。.....	84
----	-----------------------------------	----

 97

16	病院 ^{びょういん}	102
----	---------------------------	-----

 119

17	天気予報 ^{てんきよほう}	124
----	------------------------------	-----

 135

18	朝食と健康 ^{ちようしよく けんこう}	140
----	------------------------------------	-----

 151

50	音索引 ^{ごじゅうおんさくいん}	154
----	---------------------------------	-----

	各課索引 ^{かく か さくいん}	165
--	---------------------------------	-----

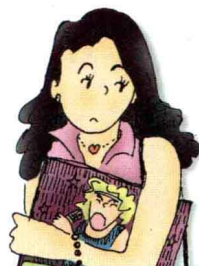
	復習 ^{ふくしゅう}	176
--	---------------------------	-----

	助数詞表 ^{じょすう しひょう}	204
--	---------------------------------	-----

登場人物



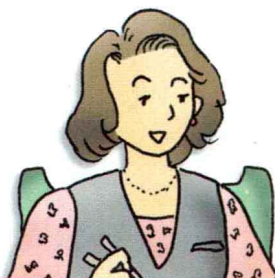
さとう たけし
佐藤 武
(会社員)



よしだ よしこ
吉田 良子
(大学生)



すずき いちろう
鈴木 一郎
(会社員)



すずき さちこ
鈴木 幸子
(会社員)



チン
ちゅうごくたいわん りゅうがくせい
(中国台湾からの留学生)

すずき いちろう し あ
* 鈴木一郎の知り合い

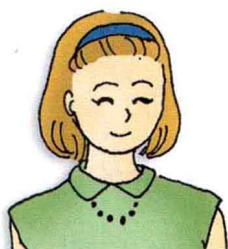
さとうたけし おな かいしや
* 佐藤武と同じ会社に
つと
勤めている



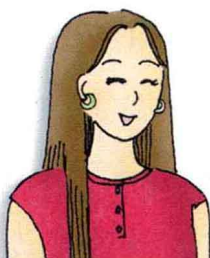
おの きょうこ
小野 京子
おんがくだいがく がくせい
(音楽大学の学生)
よし だよし こ ゆうじん
*吉田良子の友人



ワン・シューミン
ちゅうごくホンコン りゅうがくせい
(中国香港からの留学生)



マリー・ジジョンラク
りゅうがくせい
(タイからの留学生)



リー
ちゅうごく りゅうがくせい
(中国からの留学生)



さいじょう けいこ
西条 敬子
かいしゃいん
(会社員)



アルン・アマラポーン
りゅうがくせい
(タイからの留学生)



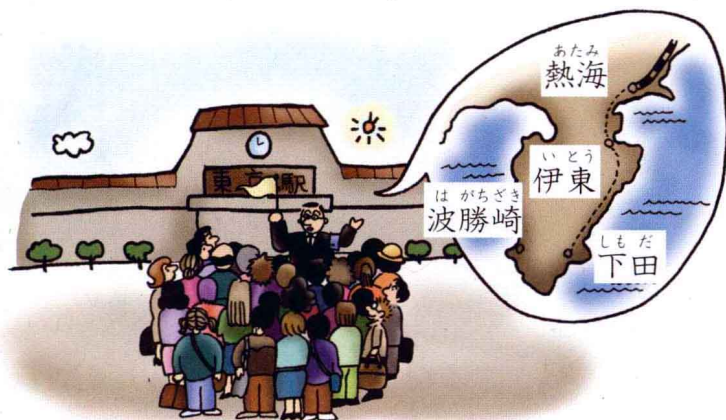
※CDの「単語」部分は、巻末の「各課索引」をご覧ください。

本文 1

とうきょう あたみ しんかんせん い
東京から熱海まで、新幹線で行きます。

とうきょうえき
(東京駅で)

- みなさん、今から今日の予定を言います。
- まず、東京から熱海まで、新幹線こだま402号で行きます。こだま402号は、午後2時21分に東京駅を出て、3時15分に熱海に着きます。
- 熱海で新幹線を降りて、バスに乗ります。下田までバスで行きます。途中、伊東でバスを降りて休憩します。熱海から下田まで2時間ぐらいかかります。5時半ごろ下田に着きます。



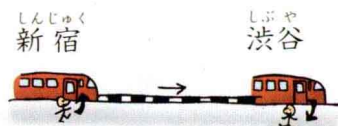


に じ にじゅういっぽん
2 時 21 分

2:01	にじ	いっぽん	2:02	にじ	にふん
2:03	にじ	さんぷん	2:04	にじ	よんぷん
2:05	にじ	ごふん	2:06	にじ	ろっぷん
2:07	にじ	ななふん	2:08	にじ	はっぷん／はちふん
2:09	にじ	きゅうふん	2:10	にじ	じっぷん

しんじゅく でんしゃ の
新宿 で電車に 乗ります。

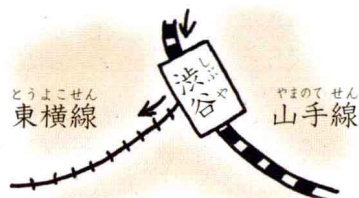
- (1) 新宿 から渋谷まで電車で行きます。
／山手線で行きます。



※ わたし まいにちある がっこう き
私は毎日歩いて学校へ来ます

- (2) 新宿 で電車に 乗ります。

- (3) 渋谷 で電車 を 降ります。



- (4) 渋谷 で東横線 に 乗り換えます。

- (5) 2 時 21 分に東京駅を出ます。



- (6) 3 時 15 分に熱海 に 着きます。

- (7) 東京 から熱海まで 54 分かかります。



a. 絵を見て例のように言いましょう。

例

新宿 から横浜の友達のうちへ行く

新宿 から、山手線と東横線で、横浜の友達のうちへ行きます。

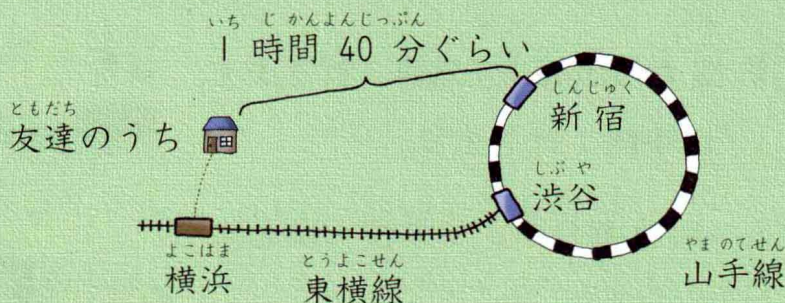
まず、新宿 で山手線に乗って、渋谷で降ります。

渋谷で東横線に乗り換えて、横浜で降ります。

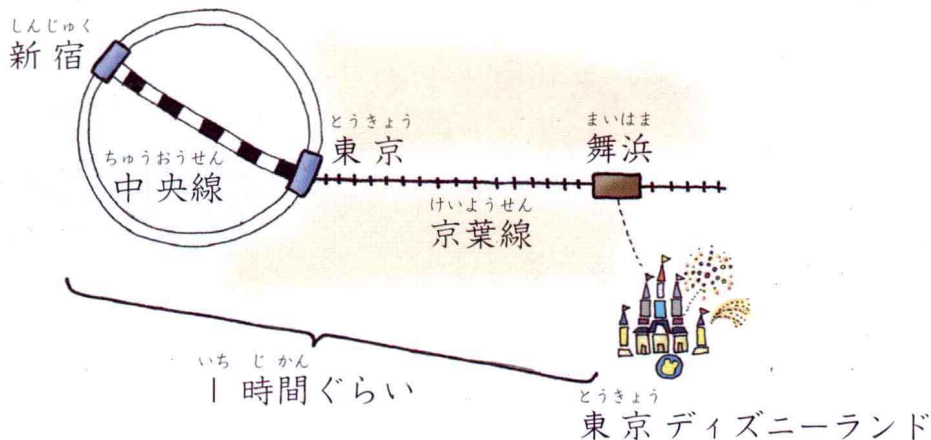
横浜から友達のうちまで歩いて行きます。

新宿 から友達のうちまで1時間 40 分ぐらい

かかります。



1. 新宿 からディズニーランドへ行く

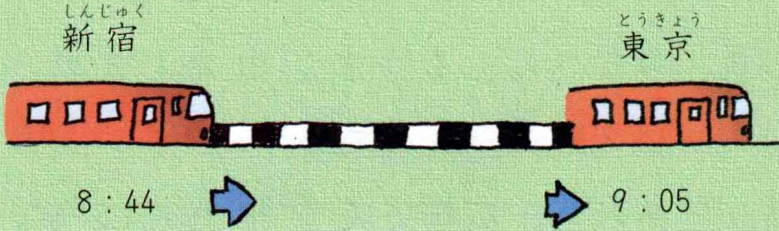




b. 時刻表を見て、例のように言いましょう。

例

この電車は 8 時 44 分に新宿を出て、
9 時 5 分に東京に着きます。



< 中央線 時刻表 >

例)

1.

2.

新宿	8 : 44	10 : 00	10 : 57
東京	9 : 05	10 : 22	11 : 18

< 京葉線 時刻表 >

3.

4.

5.

東京	9 : 21	10 : 43	11 : 46
舞浜	9 : 35	10 : 56	11 : 59



本文2

でんわ
電話をしています。

(伊東で)

- 1 添乗員 ^{てんじょういん} みなさん、もうすぐ出発します。
バスに^の乗ってください。
- 2 マリー ^{ひろた} あれっ、^{はやし} 広田さんや林さんは？
- 3 山本 ^{ひろた} 広田さんは、^{いま} 今、^{でんわ} 電話をしています。
- 4 マリー ^{はやし} 林さんは？
- 5 山本 ^{はやし} 林さんは売店^{ばいてん}の前^{まえ}でアイスクリームを
^た食べています。
- 6 マリー ^{きむら} 木村さんと^{ながい} 長井さんは？
- 7 山本 さあ…。
- 8 マリー あっ、あそこです。池^{いけ}のそばで^{しゃしん} 写真を撮
^と撮っていますよ。
- 9 添乗員 ^{てんじょういん} みなさん、^{いそ} 急いでください。

